

2019年度第2回プロジェクト委員会議事録

開催日時：平成31年4月19日（金）07：10 – 08：10

開催場所：パシフィコ横浜会議センター5階 512

出席者：川上 守（委員長）、若尾典充、今釜史郎、田口敏彦（アドバイザー）、西田康太郎、持田譲治（アドバイザー）井上 玄、海渡 貴司

欠席者：山下敏彦（担当理事）、寒竹 司、村上英樹、宮腰尚久、山田 圭、新谷 歩、加葉田大志朗（アドバイザー）

報告

1. プロジェクト「慢性腰痛症に対する薬物療法の臨床経済研究」の論文の進捗状況

1. 費用対効果（担当：海渡貴司）JOS 掲載済み

2. 診察時間と治療効果・精神要素との関連（担当：宮腰尚久）

JOS 投稿準備中（著者署名待ち）

3. 薬剤各での効果の違い（担当：井上 玄）

開始した薬剤が変更となった時点までの変化量で解析を予定

各薬剤間の治療効果に有意差は認めなかったが、傾向に違いあり。

4. 患者背景による予後因子（担当：今釜史郎、村上英樹）

テーブル構成など説明、アウトカム 11 個、Forest plot を中心に有意差があったもののみをテーブル追加予定

神経障害性疼痛治療薬併用（登録期）など予後因子としての意義（考察での記載）について議論された。JSSR2020 に演題応募予定。

5. 薬剤変更・追加パターン（担当：新谷 歩）

6. 合併症、Lab data と治療効果の関連（担当：西田康太郎）

前回解析結果報告からの追加事項はなし。

2. 持田先生より

論文化に関する acknowledgement の記載などについて再度周知いただいた。

議題

1. プロジェクト「頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物療法の臨床経済研究」について（若尾先生）

2020 年 4 月開始目標

JSSR IRB は 2019 年 7 月に開始しており問題なく手続き進行している。
参画施設はプロジェクト委員関連 13，それ以外 16 計 29 施設予定
一施設で 30 症例の登録を目標とする。

2. 次回開催

次回 2020 年 JSSR 期間中を予定